

令和二年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 四、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章を読んで、問一と問二に答えなさい。

問一 筆者は平成の時代をどのように考えているのか、三〇〇字以上五〇〇字以内で要約しなさい。

問二 今後の日本の国際貢献のあり方をどのようにすべきか、あなた自身の考えを日本国憲法との関わりを踏まえて、六〇〇字以上八〇〇字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

（五百旗頭真、「平成史（第一回）元号と時代」、『アステイオン』、CCCメディアハウス、二〇一九年五月、二九三～二九六頁、抜粋・一部
改変）

〔注釈〕 金丸信（かねまるしん）…一九五八年五月から一九九二年一〇月まで衆議院議員。一九八六年七月から一九八七年一月まで国務大臣

（副総理）、一九九二年一月から同年八月まで自民党副総裁。

出題の意図

この小論文試験の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で、必要な知識をどの程度持っているのかを見ることにある。

問一は、平成史を概観した出題文を読ませ、限られた時間で基礎的な政治外交・経済の要点を正確に理解し、まとめることができるかについて問うている。

問二では、本文の内容を踏まえて、日本国憲法の一般的な知識及び、それを踏まえた日本の国際貢献のあり方を、説得力を持った論理を展開することを求めている。

これらは本学科のアドミッション・ポリシーである、①人間社会や社会科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲を持っているか、を問う出題である。